

Plan

事業名	おちばの里親水公園管理事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10款	6項		2目	事業1	284	事業2	575
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	自然体験、親子ふれあい、仲間との交流を提供することにより、人づくり・仲間作りを推進する。								
事業の概要	自然豊かな「おちばの里親水公園」を生涯学習の場として維持管理する。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		知波田地区に平成16年11月に開園した「おちばの里親水公園」の公園内の清掃及び除草・ごみの処理・トイレの清掃を行った。 利用申請受付数 6,356人	財源内訳	1,943	1,738
		国庫支出金	0	0	
		県支出金	0	0	
		市債	0	0	
		その他	120	259	
		一般財源	1,823	1,479	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
事業の評価	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	経年により、一部劣化の見られる所も出てきており、必要に応じて修繕をしていく必要がある。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	・公園の維持管理	・公園の維持管理	・公園の維持管理
事業費(千円)	3,147		

Plan

事業名	放課後子ども教室推進事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		2 目	事業1	284	事業2	577
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	学校・家庭・地域が連携協力し、子どもたちを健やかに育てるために、社会全体の教育力の向上を図る。								
事業の概要	放課後に学校の教室を利用し、地域の参画を得て子どもたちに学習・スポーツ・文化活動・体験活動の場を提供し、安心安全な放課後教室を開催する。								

Do

事務事業評価

平成 29 年度	放課後子どもプラン推進事業運営委員会において、放課後子ども教室の計画と運営について協議し、市内6校の小学校で実施した。	事業実績		当初予算額	決算額
		事業費(千円)		3,500	2,544
		財 源 内 訳	国庫支出金	1,096	602
			県支出金	1,096	602
			市債	0	0
			その他	330	247
一般財源	978	1,093			

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	放課後子ども教室申込者数(人)			195	230	247	250
事業の 評価	判定	判定理由					
	必要性	A	国の施策であり、放課後の子供たちの居場所作りや学校・家庭・地域との連携を図るためには必要。				
	有効性	A	例年、参加希望が多く事業の目的に見合った成果を上げている。				
	効率性	B	同じ校区でも、その年により参加者数に波がある。周知方法に、改善の余地がないか検討を要する。				
総合評価	A		国の施策であり、放課後の子供たちの居場所作りや学校・家庭・地域との連携を図るためには必要。				

Action

今後の方針	内容	
事業費	維持	スタッフの確保、事業内容の充実、周知方法の研究等に取り組みながら継続する。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	・市内6小学校で開催 ・運営委員会の開催	・市内6小学校で開催 ・運営委員会の開催	・市内6小学校で開催 ・運営委員会の開催
事業費(千円)	10,326		

Plan

事業名	青少年教育の推進事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		2 目	事業1	284	事業2	591
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	体験イベントを通して学習の大切さや自然のしくみ、人と人とのふれあいを深めることにより、青少年の社会性と道徳心を育成する。								
事業の概要	子どもたちの実体験や親子、子ども間の交流を通して青少年の健全育成を図るため、青少年の科学体験、親子体験教室、おちばの里とうげ祭り、子どもフェスタ等を開催する。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)			
		当初予算額	決算額		
平成29年度	・青少年の科学体験事業 青少年に科学体験を通じて、物づくりの楽しさ、創意工夫の大切さを学ぶ機会を提供した。14ブース設置 800人参加 ・親子体験教室 自然と親しみながら親子のふれあいを深めるため、「浜名湖を知らう」「森を知らう」などを7回実施した。参加者 973人 ・コーちゃんフェスタ アメニティプラザのメインアリーナで、13種類のチャレンジ種目の実施を通して、地域・世代を超えた交流を深めた。チャレンジ参加者 584人 ・ものづくり体験 371人	事業費(千円)	2,641	2,439	
		財源内訳	国庫支出金	1,320	0
		財源内訳	県支出金	0	0
		財源内訳	市債	0	0
		財源内訳	その他	0	0
		一般財源	1,321	2,439	

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
		イベント参加者数(人)		3,118	3,000	2,728
事業の評価	判定	判定理由				
	必要性	A	青少年に多くの体験やふれあい、学ぶ機会を提供し、子どもたちの社会性の育成を図るためには必要。			
	有効性	A	さまざまなイベントを通じて、多くの参加者に学ぶ機会を提供している。			
	効率性	B	常に、より効率的な運営を研究する必要がある。			
総合評価	A	青少年に多くの体験やふれあい、学ぶ機会を提供し、子どもたちの社会性の育成を図るために必要な施策である。				

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	青少年に多くの体験やふれあい、学ぶ機会を提供し、子どもたちの社会性の育成を図るためには必要。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	・青少年の科学体験 ・親子体験教室 ・コーちゃんフェスタ ・青少年ものづくり体験	・青少年の科学体験 ・親子体験教室 ・コーちゃんフェスタ ・青少年ものづくり体験	・青少年の科学体験 ・親子体験教室 ・コーちゃんフェスタ ・青少年ものづくり体験
事業費(千円)	7,623		

Plan

事業名	青少年健全育成事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		4 目	事業1	287	事業2	587
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	青少年の健全育成を目指す								
事業の概要	青少年の健全育成のため、 ・青少年問題協議会の開催 ・健全育成大会の開催 ・育成表彰の実施 ・「家庭の日」の普及 ・子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対し、活動の支援 ・明るい地域づくりと青少年健全育成活動を実践する明湖会への補助								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		当初予算額	決算額	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会の開催 委員22名、任期2年、年間1回青少年センター運営委員会と同時開催</li> <li>・健全育成大会の開催 健全育成表彰、小中高高校生による「少年の主張」、「家族の詩」の朗読等を実施。参加者 570人。</li> <li>・健全育成表彰の実施 個人41人、15団体を表彰。</li> <li>・「家庭の日」の普及 応募数 絵画 288点、標語 293点、詩 185点</li> <li>・入賞作品を展示・公開。優秀作品を掲載した啓発物を作成し、配布し、啓発を図った。</li> <li>・子ども会連合会、ボーイスカウト湖西協議会、湖西フロンティア倶楽部、明湖会の活動に対し補助をした。</li> </ul>		事業費(千円)	4,956	4,428
	財源内訳	国庫支出金	0	0	
		県支出金	0	0	
		市債	0	0	
		その他	76	77	
一般財源	4,880	4,351			

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	「家庭の日」作品応募数(総数)			940	1,000	766	1,000
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性	A	青少年の健全育成を図るためには必要。				
	有効性	A	青少年を取り巻く地域・学校・家庭が連携して健全育成を図ることにより、地域社会全体の機運の向上に資する。				
	効率性	B	常に、より効率的な方法を検討する必要がある。				
総合評価	A	様々な手法で、より充実した事業としていく。					

Action

今後の方針	内容	
事業費	維持	より充実した事業としていくため、常に、研究をしていく必要がある。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会の開催</li> <li>・健全育成大会の開催</li> <li>・育成表彰の実施</li> <li>・「家庭の日」の普及</li> <li>・子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対し、活動の支援</li> <li>・明湖会への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会の開催</li> <li>・健全育成大会の開催</li> <li>・育成表彰の実施</li> <li>・「家庭の日」の普及</li> <li>・子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対し、活動の支援</li> <li>・明湖会への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題協議会の開催</li> <li>・健全育成大会の開催</li> <li>・育成表彰の実施</li> <li>・「家庭の日」の普及</li> <li>・子ども会、湖西少年少女発明クラブ等の各種青少年育成団体に対し、活動の支援</li> <li>・明湖会への補助</li> </ul>
事業費(千円)	14,718		

Plan

事業名	青少年育成センター活動事業			事業類型	ソフト	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	10 款	6 項		4 目	事業1	288	事業2	596
担当部署	部	教育委員会事務局			課	社会教育課			
総合計画体系	めざすまちの姿	1 ひとが育つまち			基本計画	1-④子どもを健やかに育てる			
事業の目的	街頭補導活動、相談活動を行うことにより、青少年非行を防止する。								
事業の概要	青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動、青少年環境の浄化など関係機関と連絡調整を図り、青少年健全育成活動を行う。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		当初予算額		決算額		
	街頭補導活動では、青少年補導員46人を委嘱し、青少年の非行防止のため市内各地区ごとで街頭補導を実施した。延べ624人参加 ヤングダイヤルこさい(相談窓口)を市民活動センター・西部公民館に開設し、青少年の電話相談を行った。	事業費(千円)		1,254	1,145		
		財源内訳	国庫支出金	0	0		
			県支出金	0	0		
			市債	0	0		
			その他	0	0		
	一般財源	1,254	1,145				

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	補導実施回数(回)			114	140	113	140
事業の評価	判定		判定理由				
	必要性	A	青少年非行を防止するため、街頭補導活動は重要である。				
	有効性	A	補導や声掛け事案の抑止として有効である。				
	効率性	A	事業費の多くは、補導員の活動謝礼、会議費及び出張旅費等であり、効率的に実施されている。				
総合評価	A		青少年非行を防止するため、街頭補導活動は重要である。				

Action

今後の方針		内容
事業費	維持	青少年非行を防止するため、街頭補導活動は重要である。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	・該当補導活動 ・ヤングダイヤルこさいによる電話相談	・該当補導活動 ・ヤングダイヤルこさいによる電話相談	・該当補導活動 ・ヤングダイヤルこさいによる電話相談
事業費(千円)	3,669		